

8-4-42 品質向上専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動の目的

品質の確保・向上について、管理技術面からアプローチしたエラー防止策や業務成果の品質向上策を提案することを目的とした。専門技術面のエラー防止については、技術部会の各専門委員会資料を活用することで、より効果的な活動となることを目指している。

(2) 委員会の開催

- ・専門委員会の開催：11回

(3) 品質セミナーへの参加

- ・開催時期：令和7年10月20日～11月7日
- ・開催地：オンライン形式（ビデオ配信）
- ・主催：技術部会/品質委員会
- ・参加者：全体で2,439名（内100名は発注者）

当委員会のプログラムは、第2講「国土交通省品質確保策への対応」第3講「品質管理におけるICT活用の現状」とし、各30～50分の講演を行った。

(4) セミナーの評価（アンケート結果より）

セミナー参加者へのアンケートでは、発表内容は「非常に役に立つ」と「役に立つ」の合計が93～97%（昨年度99%）、講師の説明は「非常に分かり易い」と「分かり易い」の合計が96～98%（昨年度97%）と、昨年同様高い評価となっている。この評価は、ヒアリングで得た具体の事例に重点を置いた内容と、事前の準備に時間を割いた結果と考える。

自由意見では、具体的な各社の対応が参考になり、よく理解できたという評価が多く高い評価を得られた。下記のa)、b)や実務に直結する身近な事例がわかり易いという意見が多くあった。一方で品質確保の取組に関しては自治体では地域差があり都道府県別の分析などを希望する意見があった。

- a) 国交省の取り組みの評価に加え、それらを取り入れた自治体の状況紹介が参考になった。現在も品質確保について取り組んでいるが、再度

留意点や気にすべき事項について確認でき、大変有益であった。

- b) 品質管理におけるICT活用の現状をアンケートで把握することは重要である。今後の業務へのフィードバック（課題、改善等）へ向けて、業務実施において非常に役立つ情報となり、有効なセミナーと感じた。

(5) 品質向上施策の改善提案

業務スケジュール管理表や条件明示チェックシートなどの国土交通省と建コン協で実施している品質確保策に対して、施策の効果などに関するアンケートを実施した。調査結果は、整理・分析し、今後の改善点などを国土交通省との要望と提案に活用する予定である。

(6) 品質向上講習会の実施

民間企業（三菱重工業）のエンジニアを講師として、令和7年6月24日に「ガスタービン設計・製造におけるエラー防止と品質管理の最前線」と題して講習会を開催した。講演では人間の認知の特徴に基づくヒューマンエラー対策やAI活用による設計レビューなど最先端の品質活動事例に触れ、今後の品質確保に向けたヒントを学んだ。

(7) 品質確保向上のアンケート、ヒアリング

品質向上策のアンケート（テーマは効率化による品質確保）や企業ヒアリング及び品質セミナーを通じて、活用方法等を会員企業へ周知した。

2. 次年度の活動

令和8年度は、「エラー防止のための技術継承」をテーマに、技術継承において各社が抱える課題や好事例についてアンケートとヒアリング調査を行い、品質向上との関連性を分析のうえ、取りまとめて令和8年度品質セミナー（11月開催）での発表を予定している。

また、次年度も会員企業の取り組みについて継続的な調査を予定しており、さらに品質向上推進ガイドライン（改訂版）の普及や品質向上に関する講習会の実施を予定する。

（品質向上専門委員会委員長 青木 毅）